

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	柏みらいこども学園		
○保護者評価実施期間	2026年1月20日		～ 2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2026年1月20日		～ 2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの様子を把握した支援体制	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のかかわりの中で、お子さんの様子や気持ちの変化に気づけるよう丁寧に観察することを大切にしています。 ・お子さんの様子を職員間で共有し、支援の方向性が揃うように話し合いながら進めています。 	保護者の方とのやり取りを通して、家庭や学校での様子も踏まえながら、より子どもに寄り添った支援につなげていく。
2	お子さんに合わせた遊びや活動の充実化、活動プログラムの工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの興味や得意を丁寧に観察し、個々に合わせた活動を柔軟に設定しています。 ・活動プログラムが固定化しないよう、季節やお子さんの状態に応じて内容を見直しています。 ・公園遊びなど地域の環境を活用し、他児との自然な交流の機会をつくっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの成長に合わせて活動のバリエーションを増やし、より多様な経験ができるよう工夫していきます。 ・お子さん自身が活動を選択できる場面を増やし、自主性や意欲を育む機会を広げていきます。 ・活動のねらいや効果を職員間で共有し、支援の質を高めるための振り返りを継続していきます。
3	安心して過ごせる環境・空間づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんが安心して過ごせるよう、見通しの良いレイアウトや安全な動線を意識しています。 ・日常生活にある物や環境を活用し、気持ちを安定させる方法をお子さん自身が気づけるよう工夫しています。 	季節や活動内容に応じて環境を変化させることで、お子さんが安心して過ごしつつ、新しいことや物への興味・関心、探求心を育めるような環境作りを目指していきます。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	少人数での利用が中心となるため、集団での活動経験が得られる場面が限られている	利用児童が少人数であるため、事業所内で他児と関わる機会や集団での活動を経験する場面が限られやすい状況があります。	地域の環境や外出活動を活用し、自然な形で他児と関わる機会を増やすことを検討していきます。
2	家族支援プログラムや保護者交流の機会が保護者に伝わりにくい状況があるため、今後は機会の創出と周知方法の改善に取り組んでいく	保護者同士が交流できる機会や、家族支援プログラムの実施がまだ十分に整っておらず、保護者の方が参加できる場が確保されていない状況がありました。	保護者同士がつながれる場や、家族支援プログラムの企画・実施を進めるとともに、参加しやすい時間帯や形式を検討しながら、周知方法の改善にも取り組んでいきます。
3	非常時対応やマニュアル類の周知が保護者の方に十分伝わりきれていない場面があるため、今後は説明の方法やタイミングを見直し、より分かりやすく安心していただける情報提供に取り組んでいく	マニュアルや訓練の実施状況を保護者の方へ伝える方法が限定的で、日々の中で自然に情報に触れられる機会が少ないため、内容が把握しづらい状況があります。	保護者の方が必要な情報に触れやすくなるよう、日常的に確認しやすい発信方法や伝え方を検討し、非常時対応や訓練内容のポイントを分かりやすく共有できる仕組みづくりを進めていきます。